

2年間以上つづいた【サンフランシスコ】のデータに1月12日ごろから急な変化があり、さらに1月末ごろから急な減衰傾向がみられたことから、1月27日に“北米サンフランシスコの減衰について＝北米西海岸のM7クラスの大きな地震の可能性”という最初の警告を出しました。しかしその後【サンフランシスコ】のデータは再度上昇し、いったんは危険な状況がなくなったように見えました。

ところがこの再上昇は、データの1時的な上昇、いわゆるリバウンド状態であって、2月21日ごろをピークにして、再度、急な減衰傾向になり、さらに3月5日ごろからはデータの密度が減ってきており、いよいよ大地震の発生の可能性が高まってきているように思えます。これまでのデータから考えて、サンフランシスコを中心にした北米西海岸の地域での大地震の発生に要注意と考え、現時点でとりあえず以下の予想を出します。

震源：北米カリフォルニア近辺

地震の規模：M7クラス

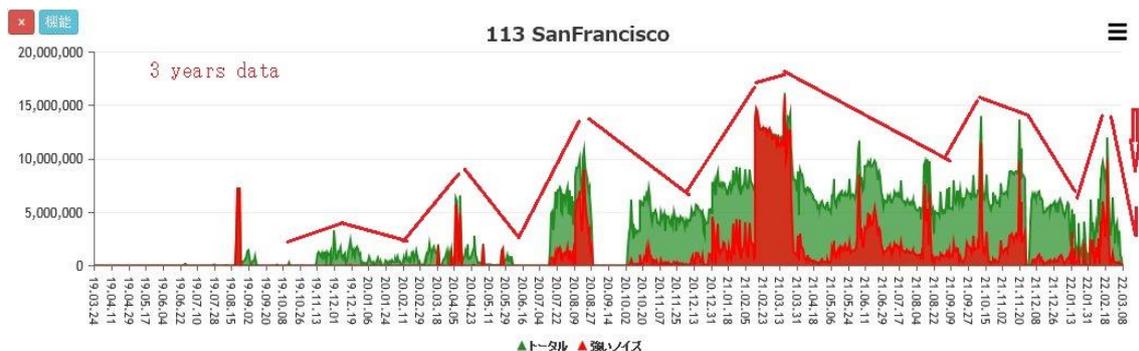
発生予想日：3月8日より1週間程度

なお、本来、観測の精度を上げるために、広いカリフォルニアには数十台の装置を置きたいのですが現在はサンフランシスコにたった1台の観測装置だけなので予知の精度もまだまだです。また電磁波は遠くまで飛ぶために大地震の場合、観測点から震源までの距離が200km以上も離れることもよくあり、今回のデータも南のメキシコあるいは北のシアトル方面など、遠隔地の大地震の可能性も考えられます。さらに前回のサンフランシスコの大地震はかなり前の1906年なので、その後平穏な時期が続いていても実は地下ではエネルギーが蓄積されてきている可能性があります。

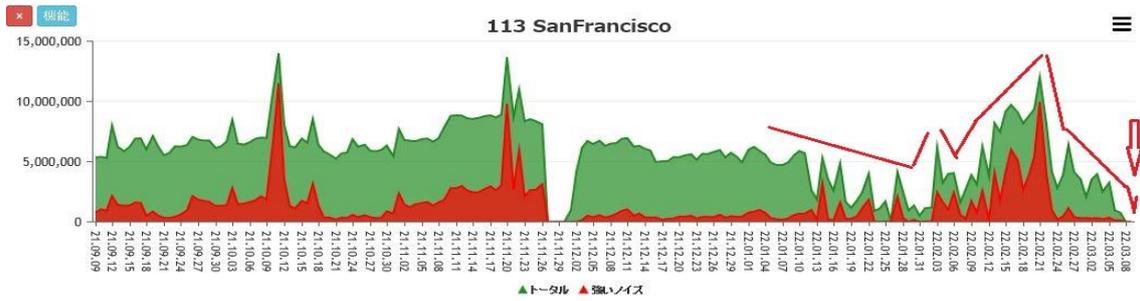
こうしたデータが出た以上、やはりサンフランシスコ周辺にお住まいの方がたにはご注意くださいと思います。

以下に、関連データを載せますので、参考にしてください。

サンフランシスコ 3年間の（日毎）データ



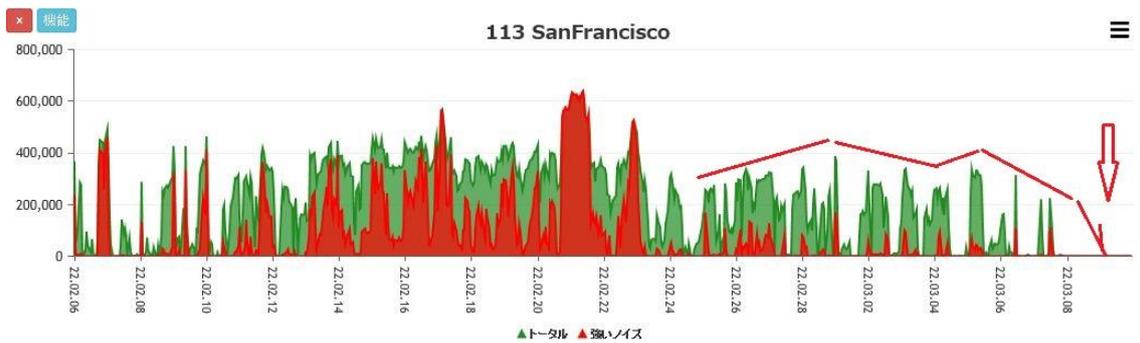
サンフランシスコ 180日（半年）間の（日毎）データ



サンフランシスコ 90日間の（日毎）データ



サンフランシスコ 30日間のデータ



サンフランシスコ 15日間のデータ

